

1 瀬戸内海の概況

1.1 概 況

世界に比類のない多島美を誇る瀬戸内海は温暖小雨の気候と豊かな自然に恵まれ、古くから多くの人々がその恵みを享受してきた。瀬戸内海は我が国の最大の内海として、本州、四国および九州によって囲まれており、700 有余に及ぶ島々と、7,230km にも及ぶ長い海岸線を有している。東西およそ 450km、南北 15～55km、面積 23,203km²、平均水深 38.0m、容積 8,815 億m³とされている。大小多くの瀬戸、湾や岩礁を含み、東は紀伊水道、西は豊後水道および関門海峡によって太平洋、日本海に連なる自然環境豊かな地域である。

瀬戸内海という呼び方が一般的になったのは、明治 4、5 年の頃からと推定されている。

わが国の代表的な閉鎖性海域である瀬戸内海（大阪湾）、東京湾、伊勢湾の基礎的諸元を表 1-1 に、瀬戸内海環境保全特別措置法の対象区域を図 1-1 に、瀬戸内海にある個別の海域の諸元を表 1-2 に示す。また、瀬戸内海の特徴である「島嶼」については、表 1-3 に示す。

自然環境保全基礎調査による湾・灘区分を図 1-2 に、広域総合水質調査による湾・灘区分を図 1-3 に示す。

表 1-1 3大湾の基礎的諸元

項目	瀬戸内海		東京湾	伊勢湾
		大阪湾		
水面面積(km ²)	23,203	1,447	1,380	2,130
平均水深(m)	38	30	45	17
容積(億m ³)	8,815	440	621	394
流域人口(百万人)	30	13	26	10

注) 瀬戸内海は瀬戸内海環境保全特別措置法及び同法施行令で次のように定めている。

- 一 和歌山県紀伊日ノ御埼灯台から徳島県伊島及び前島を経て蒲生田岬灯台に至る直線
- 二 愛媛県佐田岬灯台から大分県関埼灯台に至る直線
- 三 山口県火ノ山下潮流信号所から福岡県門司埼灯台に至る直線
- 四 二に掲げる直線、愛媛県高茂埼から大分県鶴見埼に至る直線及び陸岸によって囲まれた海面
- 五 三に掲げる直線、山口県特牛灯台から同県角島通瀬埼に至る直線、同埼から福岡県妙見埼灯台に至る直線及び陸岸によって囲まれた海面

出典：「かけがえのない東京湾を次世代に引き継ぐために」（環境庁水質保全局編）

「東京湾－100 年の環境変遷－」（小倉紀雄編）

「大阪湾環境図説」（運輸省第三港湾建設局）